

道 徳 科

1 教科のねらいと学習の重点

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。

2 指導内容

学校における道徳教育は、道徳の授業を要として、学校の教育活動全体を通じて行います。なお、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を踏まえながら、学級担任のみならず、全教職員で育成していきます。

A 主として自分自身に関すること	(1) 自主、自律、自由と責任 (2) 節度、節制 (3) 向上心、個性の伸長 (4) 希望と勇気、克己と強い意志 (5) 真理の探究、創造
B 主として人とのかかわりに関すること	(6) 思いやり、感謝 (7) 礼儀 (8) 友情、信頼 (9) 相互理解、寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること	(10) 遵法精神、公德心 (11) 公正、公平、社会正義 (12) 社会参画、公共の精神 (13) 勤労 (14) 家族愛、家庭生活の充実 (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 (16) 強度の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 (18) 国際理解、国際貢献
D 主として生命や自然、崇高なもののかかわりに関すること	(19) 生命の尊さ (20) 自然愛護 (21) 感動、畏敬の念 (22) よりよく生きる喜び

3 道徳科の評価

道徳的諸価値の理解に基づいて、人間としての生き方について考えを深め、物事を多面的・多角的に考えている様子、自分自身とのかかわりの中で深めている様子や、学習状況や成長の様子を文章で記述します。

英 語 科

1 教科のねらいと学習の重点

- ◇ 初歩的な英語の学習を通して、言語やその使い方についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。また、話し手や書き手の考え・意向や具体的な内容などを理解できるようにする。
【知識及び技能】
- ◇ 初歩的な英語を用いて、聞き手や読み手に伝えたい自分の考えや気持ちなどを話したり、書いたりして表現できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
- ◇ コミュニケーションに関心を持ち、学習した英語をもち積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
【主体的に学習に取り組む態度】

2 学習内容

1年生	2年生	3年生
Get Ready ・小学校の復習 Program 1 友達を作ろう ・be 動詞 (肯定・否定・疑問) ・where の疑問文 Program 2 1-B の生徒たち ・一般動詞 (肯定・否定・疑問) ・複数形 ・ when の疑問文 Program 3 タレントショーを開こう ・can (肯定・否定・疑問) ・what の疑問文 Program 4 Let's Enjoy Japanese Culture This is ～. That is ～. (肯定・否定・疑問) ・代名詞 ・who の疑問文	My Spring Vacation A Trip to Singapore Learning HOME ECONOMICS in English Food Travels around the World My Future Job Learning TECHNOLOGY in English A Message to Myself in the Future History of Clocks	Three Interesting Facts about Languages Sports for Everyone Haiku in English Learning SCIENCE in English Animals on the Red List My Activity Report A Mother's Lullaby Be Prepared and Work Together
Program 5 The Junior Safety Patrol ・三人称・単数・現在 (肯定・否定・疑問) Program 6 The Way to School ・him, her ・why の疑問文, Because ～. Program 7 Research on Australia ・There is [are] ～. ・how の疑問文 Program 8 The Year-End Events ・現在進行形 (肯定・否定・疑問)	Homestay in the United States Universal Design Research Your Topic Research and Presentation A Glass of Milk	Learning CIVICS in English A Legacy for Peace Discover Japan Beyond Borders Let's Have a Mini Debate
Program 9 A Trip to Finland ・一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定) Program 10 Grandma Baba's Warming Ideas! ・be 動詞の過去形 / ・過去進行形 (肯定・疑問・否定)	World Heritage Sites My Favorite Place in Our Town Pictures and Our Beautiful Planet	Power Your Future A Graduation Gift from Steve Jobs

3 評価の観点および評価の方法

- 【知識及び技能】 発表、定期テスト、小テスト
- 【思考力、判断力、表現力等】 定期テスト、小テスト、リーディングテスト、会話テスト
- 【主体的に学習に取り組む態度】 対話活動、発表、レポート

技術・家庭科（家庭分野）

1 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

（家庭分野の目標）

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指す。

2 3年間の学習予定

1年生	2年生	3年生
<p>◆学習内容</p> <p>・ガイダンス</p> <p>【家族・家庭生活】</p> <p>・家族・家庭や地域との関わり</p> <p>【衣食住の生活】</p> <p>・衣服の選択と手入れ</p> <p>・生活を豊かにするための布を用いた製作</p> <p>【衣食住の生活】</p> <p>・住居の機能と安全な住まい方</p> <p>【衣食住の生活についての課題と実践】</p>	<p>◆学習内容</p> <p>【衣食住の生活】</p> <p>・食事の役割と中学生の栄養の特徴</p> <p>・中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <p>・日常食の調理と地域の食文化</p> <p>【衣食住の生活】</p> <p>・住居の機能と安全な住まい方</p> <p>【衣食住の生活についての課題と実践】</p>	<p>◆学習内容</p> <p>【家族・家庭と子どもの成長】</p> <p>・幼児の生活と家族</p> <p>・家庭と家族関係</p> <p>【身近な消費生活と環境】</p> <p>・金銭の管理と購入</p> <p>・消費者の権利と責任</p> <p>・消費生活・環境についての課題と実践</p>

3 評価の観点および評価の方法

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<p>家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

評価については、以下の3つの観点別学習状況をもとに評価を行い、総合的に判断し、評定を行います。

(1) 知識・技能

授業・実習態度と取組み、製作物等の仕上がり具合、実技試験、定期テスト、製作物の完成度、道具・用具の扱い方等

(2) 思考・判断・表現

作業の計画性、製作物の創意・工夫、整理・整頓・夏休みの課題・観察記録のまとめ方等

(3) 主体的に学習に取り組む態度

実技試験・レポート内容・ノート内容・自己評価カード・提出物（レポート、ノート・観察記録）等

技術・家庭科（技術分野）

1 技術家庭科の目標 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

（技術分野の目標） 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2 3年間の学習予定

1年生	2年生	3年生
<p>◆題材 ものづくり（木材加工） パソコン操作 栽培</p> <p>◆学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・生活や産業で利用されている技術 ・技術の役割と環境 ・材料の特徴と利用方法 ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用 ・構想と製作図 ・製作・製作のまとめ ・コンピュータの基本的構成な構成と機能 ・コンピュータの利用 	<p>◆題材 延長コード製作 エネルギー変換作品製作 パソコン操作</p> <p>◆学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力の伝達の機構及びエネルギー変換の利用 ・電気の安全な利用と事故防止 ・製作に使用する機器の仕組み及び保守 ・エネルギー変換を利用した製品の設計 ・製作・製作のまとめ ・コンピュータを利用したマルチメディアの活用 ・プレゼンテーション ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用 	<p>◆題材 計測制御 栽培 パソコン操作</p> <p>◆学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機構 ・製作・製作のまとめ ・プログラムによる計測・制御 ・処理の手順とプログラム ・種イモ植え ・間引き（芽かき） ・追肥（土寄せ） ・観察 ・（収穫）

3 評価の観点および評価の方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との係について理解している。	生活や社会の中から技術に係る問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

評価については、以下の3つの観点別学習状況をもとに評価を行い、総合的に判断し、評定を行います。

(1) 知識・技能

授業・実習態度と取組み、製作物等の仕上がり具合、実技試験、定期テスト・製作物の完成度、道具・工具の扱い方等

(2) 思考・判断・表現

作業の計画性、製作物の創意・工夫、整理・整頓・夏休みの課題・観察記録のまとめ方等

(3) 主体的に学習に取り組む態度

実技試験・レポート内容・ノート内容・自己評価カード・提出物（レポート、ノート・観察記録）等

保健体育科 シラバス

1 教科のねらいと学習の重点

- (1) 運動の特性にふれる楽しさや喜びを味わい、体力を高める。
- (2) 自己の課題を見つけ設定し、その課題解決に努力する。
- (3) 健康で安全な生活を営む実践力を養う。

2 学習計画

1年	2年	3年
体づくり運動 ・ 集団行動 ・ 体育祭 陸上 I 短距離・リレー 球技 I バレーボール・ソフトボール 水泳 体育理論 保健 心身の機能の発達と心の健康	体づくり運動 ・ 集団行動 ・ 体育祭 陸上 I 短距離・リレー 球技 I (1種目選択) バレーボール・ソフトボール 水泳 体育理論 保健 健康と環境	体づくり運動 ・ 集団行動 ・ 体育祭 陸上 I 短距離・リレー 球技 I (1種目選択) バレーボール・ソフトボール 水泳 体育理論 保健 健康な生活と疾病の予防
器械運動 (1種目選択) マット運動・跳び箱運動 武道 柔道・ダンス 陸上 II 長距離走 武道 柔道・ダンス 保健 心身の機能の発達と心の健康	器械運動 (1種目選択) マット運動・跳び箱運動 武道 柔道・ダンス 陸上 II 長距離走 武道 柔道・ダンス 保健 健康と環境	器械運動 (1種目選択) マット運動・跳び箱運動 陸上 II 長距離走 武道 柔道・ダンス (1つ選択) 保健 健康な生活と病気の予防
武道 柔道 ダンス 球技 II サッカー・バスケットボール 保健 心身の機能の発達と心の健康	武道 柔道 ダンス 球技 II サッカー・バスケットボール 保健 障害の防止	武道 柔道・ダンス (1つ選択) 球技 III (1つ選択) サッカー・バスケットボール 保健 健康な生活と病気の予防

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
・ 定期テスト ・ 授業における技能テスト ・ 授業における技能の観察の記録 ・ 学習カードの記述内容	・ 学習カードの記述内容 ・ 保健ワーク ・ 授業の発言、行動観察	授業態度 ・ 声出し ・ 準備片付け ・ 授業の発言、行動観察 欠席、見学、遅刻、早退 保健室休養の状況

令和3年度美術科の授業について

坂戸市立千代田中学校美術科の目標は以下の通りです

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- (3) 自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。

	1年	2年	3年
1学期	素描～クロッキー・デッサン・スケッチ～	木を使う材料体験 バズル制作	自画像 自分を見つめる
	色の学習・整理	デッサンの基礎 明暗の表現	鑑賞「ゴッホの自画像」
	レタリング(明朝体・ゴシック体)	遠近法「1点・2点透視図法の学習」	モダンテクニックの工夫
	創作絵文字		
	美術館作品に親しもう「アートカード」		
2学期	粘土の可能性を探る	身の回りの風景 水彩色鉛筆の技法	抽象 金属鋳型 「時のかたち」
	陶芸・工芸デザイン	奥行きのある平面構成	
	平面抽象表現・カッティングアート (折り、重ね、切り抜きなど)	「宙に浮かぶ立体 仮想空間を描こう」	
3学期	モダンテクニックの体験 多様な表現方法を探る	日本の伝統・造形美 京都・奈良の伝統文化	日本の伝統・造形美 ジャポニズムの興
	鑑賞 ロダン「考える人」	水墨画の体験 多様な表現方法	文様・柄・家紋

※ 評価の観点にある3つの基準は以下の通りです。通知表の観点別評価の観点を示しています。

※ これらを総合的に判断して5段階評価をします。

知識・技能 技術の習得 製作の工夫 芸術作品の価値を知る等

思考・判断・表現 構想図、計画 アイデア授業中の様子
美しさの追及等

主体的に学習に取り組む態度 . . . 授業ルールの尊重 材料道具の管理保守プリント
自他の作品を大切に作る態度 など

音 楽

1 教科のねらいと学習の重点

- ◇音楽の知識・技能を表現活動に活かしている。 【知識・技能】
 ◇音楽表現を創意工夫したり、音楽の良さ・美しさを味わって聞いている。 【思考力・判断力・表現力】
 ◇主体的に音楽活動に取り組んでいる。 【学びに向かう力】

2 学習内容

	1 年 (週1, 5時間)	2 年 (週1時間)	3 年 (週1時間)
4月	1のびのびと歌おう (歌唱) 「校歌」(斉唱) 「We'll Find The Way」	1混声合唱の楽しさを味わおう 「夢の世界を」「翼をください」	1歌詞の美しさを味わおう 「花」(歌唱)
5月	2情景をイメージして聴こう 鑑賞「春」(鑑賞) 3フレーズのまとまり感じ取って演奏しよう (歌唱・器楽) 「主人は冷たい土の中に」「浜辺の歌」	2リズムを楽しもう 「テキーラ」	2パートの役割を理解し、曲想を生かして表現を工夫しよう 「ふるさと」
6月	4旋律を創作しよう (創作)	3多声音楽や鍵盤音楽の魅力味わおう 「フーガト短調」(鑑賞)	3情景を味わい、作曲者の思いを感じ取ろう 「ブルタバ」(鑑賞)
7月	5詩の内容から場面を想像しながら聴こう「魔王」(鑑賞)	4日本の歌を歌いごう 「夏の思い出」「荒城の月」	4歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して生き生きとした素晴らしい合唱をつくりあげよう 「友」～旅立ちの時～他
9月	6歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して、生き生きとした素晴らしい合唱をつくりあげよう 「カリブ夢の旅」他	5歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して生き生きとした素晴らしい合唱をつくりあげよう 「COSMOS」他	5日本の伝統音楽に親しもう 「能」「巢鶴鈴慕」(鑑賞)
10月	7日本の伝統音楽に親しもう 「雅楽」「六段」(鑑賞) 「さくらさくら」(箏)	6オペラの名曲を鑑賞し、その魅力を味わおう 「アイダ」(鑑賞)	6アンサンブルを楽しもう 「カントリーロード」
11月	8ギターに挑戦しよう 「音階」「きらきら星」	7交響曲に親しもう 「交響曲第5番」(鑑賞)	7身近な題材でCMメロディーをつくろう。(言葉の抑揚やリズムを生かして特徴のある旋律をつくる)(創作)
12月	9アジアの諸民族の音楽に親しもう (鑑賞)	8ギターに親しもう 「大きな古時計」	8卒業に向けて3年間の思いを込め、感動のある合唱をつくりあげよう 「友」～旅立ちの時～ 「青葉の歌」
1月	10日本の音階でメロディーをつくろう (創作)	9日本の伝統音楽に親しもう 歌舞伎「勅進帳」文楽「新版歌祭文」から (鑑賞)	
2月	11表現を工夫して、感動のある合唱をつくりあげよう 「青葉の歌」	10和音の音でメロディーをつくろう (創作)	
3月		11気持ちを込め表現を工夫して、感動のある合唱をつくりあげよう 「青葉の歌」	

3 評価の観点および評価の方法

【知識・技能】	定期テスト 実技発表 (相互評価、教師の評価)
【思考力・判断力・表現力】	授業の取り組み (自己評価、相互評価、教師の評価) ノート、学習プリント
【主体的に学習に取り組む力】	授業の取り組み (自己評価、教師の評価) ノート、学習プリント

理 科

1 教科のねらいと学習の重点

理科では、「自然の中にある法則性、規則性を見つけられる生徒」を育てることを第1のねらいとしています。身近な自然やどこの家庭にもある物を使って実験や観察を行い、科学的に調べる方法や科学的に考える力を身につけるように工夫していきます。

また、実験結果をもとに、自分で考えたりグループで考えたりしたことを、まわりの人に説明する機会を増やし、思考判断力を高めていきたいと考えています。

2 学習内容

	1 年 (週3時間)	2 年 (週4時間)	3 年 (週4時間)		
4月	1 色々な生物と共通点 1章 植物の特徴と分類	1 化学変化と原子・分子 1章 物質のなり立ち	1 生命の連続性 1章 生物の増え方と成長		
5月				2章 物質の表し方	2章 遺伝の規則性と遺伝子
6月				3章 様々な化学変化 4章 化学変化と物質の質量	3章 生物の種類の多様性と進化
7月	2 身のまわりの物質 1章 色々な物質とその性質	2 生物の体のつくりとはたら 1章 生物の体をつくるもの	2 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン		
9月				2章 植物のからだのつくり	2章 電池とイオン
10月				3章 動物のからだのつくり	3章 酸・アルカリと塩
11月				4章 動物の行動のしくみ	3 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解
12月	3 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子	2章 物体の運動			
1月		2章 大気中の水の変化	3章 仕事とエネルギー		
2月	3 光・音・力による現象 1章 光による現象	3 地球の大気と天気の変化 3章 天気の変化と大気の動き	4章 多様なエネルギーと移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用		
3月				4 電流とその利用 1章 電流の性質	4 宇宙を観る 1章 宇宙の広がり
4月					
5月				3章 電流と磁界	3章 月と惑星の見え方
6月				4 活きている地球 1章 身近な大地	5 自然と人間 1章 自然界のつり合い
7月	2章 ゆれる大地	3章 科学技術の発展			
8月	3章 火をふく大地	4章 人間と環境			
9月	4章 語る大地		5章 持続可能な社会をめざして		

3 評価の観点および評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
内容	自然の法則や現象を理解しているとともに、観察、実験の基本的な操作ができ、その結果を正しく処理できる。	科学的、理論的に原因や結果を考え、自然の事象についての性質や規則性を見出し、説明できる。	意欲的に物事・現しうに関り、見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実験・観察の取り組み状況 ・パフォーマンステスト ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・レポート ・実験の予想 ・実験結果の考察 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート、ノート、ワーク等の提出物・小テスト ・授業及び実験・観察の取り組み ・発表自己評価カード

※単元によっては、観察実験が少なく、評価の観点の割合が片寄ることがあります。

数 学

1 教科のねらいと学習の重点

- (1) 数学的事柄に関心を持ち、数学的活動の楽しさ、数学的見方や考え方のよさを知り、進んで活用しようとする態度を育てる。
- (2) 基礎的・基本的な内容について理解し、それらを利用していろいろな問題を解決できる能力を養う。

2 学習内容

週	月	一 学 年		二 学 年		三 学 年		
1	4	1 正負の数	文字の式	1 式の計算	式の展開と因数分解	1 式の展開と因数分解		
2				2 文字式の利用		2 式の計算の利用		
3	5	2 正負の数の計算	連立方程式		平方根		1 平方根	
4				3 正負の数の利用		2 連立方程式の利用		2 根号をふくむ式の計算
5								
6	6	2 文字式の計算	一次関数	二次方程式	1 二次方程式			
7						1 方程式	1 一次関数とグラフ	2 二次方程式の利用
8	9	2 方程式の利用	2 一次関数と方程式	関数	1 関数とグラフ			
9						1 関数	3 一次関数の利用	y = ax ²
10	10	2 比例	1 平行と合同	関数	3 いろいろな事象と関数			
11						11	3 反比例	2 証明
12	4 比例・反比例の利用	1 三角形	図形の性質	2 平行線と線分の比				
13					1 直線と図形	2 四角形	円の性質	3 相似な図形の計量
14	2 移動と作図	1 円周角と中心角	3 相似の利用					
15				3 円とおうぎ形	2 円の性質の利用	三平方の定理	1 直角三角形の3辺の関係	
16	1 立体と空間図形	1 場合の数と確率	2 三平方の定理の利用					
17				2 立体の体積と表面積	1 箱ひげ図	標準調査		
18	1 ヒストグラムと相対度数	データの活用	三年間のまとめ					
19				2 データにもとづく確率	一年間のまとめ			
20	一年間のまとめ	一年間のまとめ						

3 評価の観点および評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、明瞭・明確に表現する力を身につけている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
評価方法	授業の取り組み、試験など	授業の取り組み、試験など	授業中の活動の様子など

社 会 科

1 教科のねらいと学習の重点

社会科では、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを目標としています。社会的分野の地理・歴史・公民の学習を通して、事実に基づく知識の定着とそれを活用する力を身に付け、資料等から論理的に思考し表現する力を育てていきます。また、互いの考えを尊重して伝え合い、建設的な議論をする力を身につけ、将来社会へ出たときに有効に働く能力を育てていきます。社会に対する関心や意欲を高め、学習内容を通して未来の担い手として必要なことを学ばせ、評価していきます。

2 学習内容（中心的なもののみ記載）

1 年（週3時間）	2 年（週3時間）	3 年（週4時間）
持続可能な社会の実現に向けて（地理）1 1編1章 世界の姿 7 1編2章 日本の姿 ★数学 6 2編1章 世界各地の人々の生活と環境 ★理科 10 持続可能な社会の実現に向けて（歴史）1 1章 歴史へのとびら ① 4 ② ★技術 2 2章 古代までの日本 導入 1 ①（前半） 2	4章 近世の日本 導入 1 ① 8 ② 5 ③ 7 まとめ 2 3編1章 地域調査の手法 ★技術 6 3編2章 日本の地域的特色と地域区分（前半） ★理科・保健体育・道徳 5	6章 二度の世界大戦と日本 導入 1 ①4 ② ★国語 3 ③5 ④ ★道徳・保健体育 4 まとめ 2 7章 現代の日本と私たち 導入 1 ① 2 ② ★道徳5 ③ ★理科・保健体育・道徳 3 まとめ 2 歴史のまとめ 1 持続可能な社会の実現に向けて（公民） 公民学習の初めに 1 1章 現代社会と私たち 導入 1 ① ★技術
①（後半） ★書写・国語 3 ② 3 ③ ★国語 8 まとめ 2 地域の歴史を調べよう ★英語 6 2編2章 世界の諸地域 ① 7 ② ★理科 5 ③ 4 ④ 5 3章 中世の日本 導入 1 ① ★国語 5 ② 7 まとめ 2	3編2章 日本の地域的特色と地域区分（後半）6 3編3章 日本の諸地域 ①5 ②5 ③5 ④5 ⑤ ★保健体育 5 ⑥5 ⑦5 3編4章 地域の在り方（前半）2 3編4章 地域の在り方（後半）3 5章 開国と近代日本の歩み 導入 1 ① 5 ② 4 ③9 ④ ★道徳・国語 6 まとめ 2	② ★道徳・家庭 3 ③ ★保健体育 4 まとめ 1 2章 個人の尊重と日本国憲法 導入 1 ① 5 ② 6 ③ 3 まとめ 1 3章 現代の民主政治と社会 導入 1 ① 6 ② 10 ③ ★理科・保健体育・道徳 5 まとめ 1 4章 私たちの暮らしと経済 導入 1 ① ★家庭5 ② ③6 ④4 ⑤ ★家庭 2 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ★家庭 2 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ⑳ ★家庭 2 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ★家庭 2 ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ★家庭 2 ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㊿ ★家庭 2 5章 地球社会と私たち 導入 1 ① 5 ② ★理科5 ③ 2 まとめ 1 終章 より良い社会を目指して ★技4
地理 (53) 歴史 (47)	地理 (57) 歴史 (42)	歴史 (41) 公民 (95)

3 評価の観点および評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会的事象(地理・歴史・公民)について正しく理解できる。	社会科の学習内容について理解し、考えた意見を正確に伝えることができる。社会の事実や出来事、人間の行動について文章表現をすることができる。	資料などを他者と協力して読み取ることができる。意欲的に取り組み、関心を持って授業に参加している。
評価方法	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト ・ワークシートの記述内容 ・単元のまとめレポートや作文	・ノート、プリント等の記述内容 ・授業中の発言、行動観察 ・ワークの達成状況 ・授業振り返りシート

国 語 科

1 教科のねらいと学習の重点

国語科では、「国語を適切に表現し正確に理解する能力と、伝え合う力を高め、言語感覚を豊かにして、思考力や想像力を養う」ことを目標としています。言葉を通して、論理的に思考し表現する力、互いの考えを尊重して言葉で伝え合う力を身につけ、日本の伝統的な言語文化に触れて感性や情緒を育んでいきたいと考えています。

国語に対する関心や意欲、話すことや聞くことの力、文章を書く力、文章を読む力とともに、伝統的な言語文化と国語の特質に関して学び、評価していきます。

2 学習内容（中心的なもののみ記載）

1 年（週4時間）	2 年（週4時間）	3 年（週3時間）
<ul style="list-style-type: none"> ・朝のリレー（詩） ・野原は歌う（詩） ・シンシュン（物語） ・【書写】埼玉県硬筆展 ・ダイコンは大きな根？（論説） ・ちょっと立ち止まって（論説） ・詩の世界（詩） ・言葉の単位（文法） 	<ul style="list-style-type: none"> ・見えないだけ（詩） ・アイスプラネット（小説） ・枕草子（古文） ・【書写】埼玉県硬筆展 ・クマゼミ増加の原因を知る（論説） ・プレゼンテーション（話す） ・短歌に親しむ（伝国） ・言葉の力（随筆） 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界は美しいと（詩） ・握手（小説） ・学んで時にこれを習ふ（漢文） ・作られた「物語」を超えて（論説） ・【書写】埼玉県硬筆展 ・俳句の可能性（伝国）
<ul style="list-style-type: none"> ・星の花が降るころに（物語） ・大人になれなかった弟たちに…（物語） ・「言葉」を持つ鳥シジュウカラ（論説） ・いろは歌、月に思う（古文） ・蓬萊の玉の枝（古文） ・今に生きる言葉（漢文） ・【書写】埼玉県書きぞめ展 	<ul style="list-style-type: none"> ・盆土産（小説） ・字のない葉書（随筆） ・モアイは語る（論説） ・平家物語、徒然草（古文） ・漢詩の風景（漢文） ・【書写】埼玉県書きぞめ展 ・君は「最後の晩餐」を知っているか（論説） 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶（詩） ・故郷（小説） ・人工知能と未来（論説） ・古今和歌集、和歌（古文） ・おくのほそ道「夏草」（古文） ・【書写】埼玉県書きぞめ展 ・誰かの代わりに（論説）
<ul style="list-style-type: none"> ・「不便」の価値を見つめ直す（論説） ・単語の分類（文法） ・少年の日の思い出（小説） ・さまざまな表現技法（言葉） ・さくらははなびら（詩） 	<ul style="list-style-type: none"> ・走れメロス（小説） ・表現を工夫して書こう（創作） ・助詞、助動詞（文法） ・木（詩） 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かいスープ（随筆） ・私を束ねないで（詩） ・入試対策

3 評価の観点および評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	文法や漢字について正しく理解し使うことができる。	自分の意見を正確に伝え、また理解することができる。正しく文章表現をすることができる。	文章の内容を正確に読み取ることができる。意欲的に取り組み、関心を持って授業に参加している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・漢字テスト ・書写（硬筆・書きぞめ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・聞き取りテスト ・作文 ・発表の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、プリント等の記述内容 ・授業中の発言、行動観察 ・ワークの達成状況 ・授業振り返りシート